

てんかん認定 通信

第7号

2016.1 発行：てんかん院内認定看護

あけましておめでとうございます

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
旧年中は、大変お世話になりました。

てんかん院内認定看護師一同は、患者さんのQOL向上のため自己研鑽に努めていきたいと考えております。てんかんについて知りたい、考えたい、相談したい、という方々は、是非お気軽にお声をおかけください



JEPICA に行ってきました

2016年1月9日10日仙台国際センターにてJEPICA（全国てんかんセンター協議会総会）2016が開催されました。

学会プログラムの1つであるシンポジウム『てんかん看護と患者教育』に、当院認定看護師の山口副師長がシンポジストとして参加しました。会場では活発な質疑応答がなされ、『患者さんがてんかんという病気の理解を深められるよう学習を進めていくには、全ての看護師を巻き込んで支援していくことが必要』という意見が出されました。

私たち認定看護師も、今年はこの点に力を入れて看護師教育に取り組み、活動していきたいと考えています。今年もどうぞよろしくお祈りします。



今月の編集者のつぶやき（石原）

てんかんセンターは、全国各地にたくさん立ち上がっていますが、当院はてんかんの包括医療を牽引する病院の1つで高度な医療を提供していると再確認しました。

我々は、この高度な医療を『守破離』

ググってね

（しゅはり）の精神で薦めていかなければいけません。